

## NEWS

●ニュース

## 新素材『超臨界抽出プロポリス包接体』上市 アルテピリンCの吸収性向上を実現

富士見養蜂園

(株)富士見養蜂園(埼玉県志木市、☎048-472-0123)は、(株)シクロケムバイオ、産総研と共同開発した新素材『超臨界抽出プロポリス包接体』を上市した。γ-シクロデキストリンによる吸収性向上技術を利用した新素材。脂溶性物質を高濃度で抽出できる超臨界抽出法との組み合わせにより、アルテピリンCの吸収性向上を実現した。

同社では、アルテピリンCの吸収性向上が生理活性をさらに高めることに着目、3者による共同研究に2015年から取り組んでいた。グリーンプロポリス超臨界抽出物(GPSE)をγ-オリゴ糖で包接化した試験では、小腸液中の溶解度を高めることが

できるかを評価。その結果、アルテピリンCの溶解度が有意に上昇することを突き止めた。抗がん活性試験では、がん細胞の増殖抑制効果が示された。同研究成果は、『INTERNATIONAL JOURNAL OF ONCOLOGY』にて掲載済み。このほか、コーヒー酸フェネチルエステル(CAPE)を包接した場合についても、吸収性向上および抗がん活性を示すデータを取得している。

ドイツ・キール大学と(株)シクロケムの共同研究では、抗炎症作用についても確認。炎症性サイトカイン低減のほか、アルツハイマーなどの発症に関わる血清アミロイドPを低減させることを確認した。